

ボランティア・協働情報紙 ～まなびとボランティアをサポートする～

第80号

令和元年
12月1日
発行

まなぼら



この手話は何を表わしているでしょう? (⇒正解はp2)

Contents

特集

手話をもっと身近に
～たった一人の勇気が大きな輪になった～

元気人

布絵本「結う」 井川 富美子 さん

防府市生涯学習課のイチオシ

- 第 72 回防府市成人式 成人式実行委員会
- 報告♪ほうふ幸せます人材バンク

防府市社会福祉協議会のイチオシ

- ろう者と聴者が共につくる人形劇
河の童 (かわのわっぱ)
- 市民手話講習会
- ボランティアコーナー

防府市市民活動支援センターのイチオシ

- 多様性について考える交流セミナー

手話をもっと身近に ～たった一人の勇気が大きな輪になった～

「手話でもっとたくさんの人とふれあいたい」この5月、聴覚に障害のある片野さんの熱い思いが先生の気持ちを動かし、佐波小学校手話クラブが発足しました。「手話を身近に感じてほしい」と思う彼女の願いを込め、今号をお届けします。

佐波小学校手話クラブ

佐波小学校手話クラブ 5年生 かたの かれん 片野 楓恋 さん



Q 手話クラブをつくろうと思った理由は？

4年生から、毎年春にあるクラブ選びをする時に、「手話クラブがあつたらいいな」と思ったのがきっかけです。来年は、弟とその友達も入学してくるので、もし手話クラブがあつたら、弟たちの友達づくりにも役立つと思いました。

まず、先生に相談したところ、先生がいろいろ手助けしてくれて、外部から手話を教えてくれる先生たちが来てくれるという話になりました。クラブの部員募集のために、5分間のPRビデオも作りました。学校でPRビデオを放送したところ、なんと14人もの人が入ってくれて、5月から手話クラブを始めることができました。まさか本当にできるとは思わなかったので、とてもびっくりしています！

Q 活動が始まって変わったことは？

クラブ以外でも手話で話してくれたり、クラブ以外の人にも手話を使ってくれたりするようになりました。登校時、みまわり隊の人が手話で挨拶して、ハイタッチしてくれたのが、すごくうれしかったです。また、同じ登校班の3年生の子が「手話を教えて」と言ってくれたのもうれしかったです。手話クラブが始まって、「みんなが前より興味を持ってくれてる！」と思うことが多くなりました。

Q みんなに覚えてほしい手話は？

みんなに覚えてほしいのは、「ハッピー言葉」の手話です。相手も自分もうれしくなるような言葉のことで、学校全体でも「ハッピー言葉」を使うのを目標にしています。例えば、「ありがとう」「ごめんなさい」「がんばろう」「一緒にやろう」などです。ぜひ使ってみてください！



山口県手話言語条例が制定されました！

10月に山口県手話言語条例が制定されました。この条例の背景には、①独自の“言語”である手話が、言語として使いやすい環境が十分に整備されていない②手話を習得できないことにより、聴覚障害者は日常生活のコミュニケーションだけでなく、成長の過程で思考力や表現力を身につけ、豊かな人間性をはぐくむ上でもハンディを抱えているなどがあります。

手話を言語であると条例で制定することにより、手話の普及と習得の機会を確保し、手話で生活できる地域社会の実現を目指します。

知っちょる??

聴覚障害者のためのシンボルマーク



耳マーク

聞こえが不自由なことを表わすと同時に、聞こえない人・聞こえにくい人へ筆談や口元を大きく開けて話すなどの配慮をすることを表わしています。(出典：内閣府)



聴覚障害者標識

聴覚障害者であることを理由に免許に条件を付されている人が運転する車に表示を義務付けられている標識です。(出典：内閣府)

防府市には約 380 人の聴覚に障害がある方が暮らしているよ♪



誰もが暮らしやすい防府になったらいいな



佐波小学校手話クラブ講師

防府市聴覚障害者福祉会 あかい 赤井 さゆり さん 防府手話同好会 だて さとみ 伊達 里美 さん

手話クラブの講師の2人に活動への思いについて聞いてみました。



Q 発足当時から見て、子どもたちの様子に変化はありますか？

手話を覚えて自信が持てるようになったからか、積極的に学び、手を挙げて発言するようになりました。最近は手話で挨拶をしてくれます。

Q 難聴学級の児童に伝えたいことは何ですか？

将来いろいろな壁があると思います。自分に負けず、何事にも挑戦して夢を叶えてほしいです。

Q 手話クラブの児童に伝えたいことは何ですか？

手話にこだわらず、互いに助け合うということを大切にしてほしいです。

Q これから手話を学ぶ人に伝えたいことはありますか？

講習会などで手話を学んだら、日常生活の中でも使ってみてほしいです。＊ろう者は、手話を使って少しでも会話ができたら本当にうれしいものです。一人ひとり手話に特徴があるので、何度もやり取りし、相手にあったコミュニケーションを探してもらえるとありがたいです。それは、ろう者でなくても同じことだと思います。



井川

Fumiko Ikawa

富美子

さん



ルルサス防府の親子ふれあい広場に寄贈されたおもちゃ

布絵本「結う」

井川さんが代表を務める団体『布絵本「結う」』は、手作りの布絵本を通して、子どもたちの心の育ちや親子のコミュニケーションを促進することで、乳幼児と絵本との関わりの大切さを伝えています。

主な活動として、オリジナル布絵本の制作、パネルシアター・エプロンシアターの制作、『防府図書館まつり』や『防府市生涯学習フェスティバル』など市内で開催される行事への参加・協力、防府総合支援学校への支援を行っています。また、平成25年から毎年、制作作品を図書館に寄贈し、図書館で一般貸出しています。

井川さんは、還暦を迎えた頃、何か活動をしたと思い、初めは仲間たちと楽しむことを目的に、布絵本の制作を始められました。

当時は、現在のような図書館活動にまで発展するとは思っていなかったのだそうです。みんなで集えるほんわかした場として毎回の活動を

楽しむ中で、「布のぬくもりを感じながら、親子で一緒にページをめくることによって、自分たちの作る布絵本が、心をつなぐツールになってほしい」との思いがうまれ、寄贈を始められました。

布絵本は、参考にする本などがあまりなく、メンバーでアイデアを持ち寄って、物語のどの部分をどのように表現するのか、あれやこれやと話し合いながら制作しているのだそうです。

そして、現在では、作るだけでなく、総合支援学校や市内公民館のシルバー教室などへ赴き、オリジナルのタペストリーを使った読み聞かせなどを行い、子どもからお年寄りまでたくさんの人たちに喜ばれています。

自分たちが制作した布絵本に触れる人たちの笑顔を見て、「少しでも地域のお役に立てていると実感できるようになり、人生が豊かになりました」と、井川さんは笑顔で話されます。



第72回防府市成人式 成人式実行委員会

成人式実行委員の募集に、新成人を中心に意欲ある13名の若者たちが集まってきました。9月末から月に3、4回協議をしながら、成人式を盛り上げようと頑張っています。



▲第72回防府市成人式実行委員のみなさん

実行委員としてどんな活動をしていますか？

成人式のテーマの決定や、記念品の選定、当日の企画、広報などを話し合っています。

成人式のテーマは何に決まったのですか？

「令和最初の成人式～今年の主役はあなたの番です～」に決まりました。

成人式に向けて何か一言お願いします！

今年成人を迎えられる方々の一生の思い出になるように頑張ります！

成人式についての問合せ

防府市成人式実行委員会事務局 生涯学習課（文化福祉会館内）
TEL：(0835) 23-3013

第72回防府市成人式

日時：令和2年1月12日（日）
11：00～ 式典
場所：ソルトアリーナ防府

報告♪ ほうふ幸せます人材バンク

指導者バンク登録団体 **スポーツ推進委員連絡協議会**

防府市では、23名のスポーツ推進委員のみなさんが、スポーツの指導や助言、行事への協力などの活動をしておられます。

10月30日、スポーツ推進委員の浜田さんと河杉さんが、富海放課後子ども教室で、小学生にカローリングの指導をされました。

カローリングとは、氷の上で行うカーリングを室内の床でできるように開発されたニュースポーツで、底面に車輪が付いた『ジェットローラー』という円盤を、順番にポイントゾーンに向けて転がし点数を競います。そと転がすと届かず、力を入れすぎるとゾーンを通り越してしまいます。



子どもたちは、初めはなかなかうまくいかなかったものの、何度か転がすうちに、すぐにうまくなり、前の人のローラーをはじいて外に出すこともできるようになりました。

浜田さんは、「もっとたくさんの人にカローリングや、パラリンピックの種目でもあるボッチャなどのことを知ってほしい。その他にも、とても楽しいニュースポーツがたくさんあります」と、言われていました。

子どもたちも「楽しかった！もっとやりたい」と、喜んでいました。



今号では、『山口県手話言語条例』制定・『防府手話サークル梅の会』47周年を記念した上映や手話の基本を一から学ぶことができる講座をご紹介します。イベントをきっかけに障害について学び、“共に生きる”とは何かについて考えてみませんか？

防府手話サークル梅の会 主催 ろう者と聴者が共につくる人形劇 **河の童(かわのわっぱ)**

日時 12月15日(日) 13:30~15:00(開場13:00~)

場所 デザインプラザHOFU **チケット代** 高校生以上 1,500円
(中学生以下は入場無料)

12月15日は、防府読売マラソンがあるから、早めに行動した方がいいね！



～あらすじ～

河童は、コイやカエルと泳いだり、子どもたちと相撲をとったり、のんびりした毎日を過ごしています。河童の周りには、子どもたちの笑顔があふれ、いつまでもそんな時間が続くかと思っていました。でも……。村に干ばつが続いた年、村人たちはそれを河童のせいにして。人間たちの行動が分からない河童は、一体どうしてこんなことが起こるのだろうと考えます。

申込み・問合せ 市社会福祉協議会(7P参照)

市民手話講習会

日時 2月5日(水) ~ 3月11日(水) ※毎週水曜日 全6回

昼の部 10:00~12:00 夜の部 19:00~21:00

場所 市文化福祉会館3階9号 **参加費** 無料

対象者 手話の基本を学びたい方

申込み・問合せ 市社会福祉協議会(7P参照)

ボランティアコーナー

ボランティアコーナーでは、ボランティアアドバイザーによる、ボランティアに関する相談や情報提供を随時行っています！開催日は下記表をご覧ください。どうぞお気軽にお越しください！

12月	2日(月)	6日(金)	9日(月)	13日(金)	20日(金)		
1月	10日(金)	17日(金)	20日(月)	24日(金)	27日(月)	31日(金)	
2月	3日(月)	7日(金)	10日(月)	14日(金)	17日(月)	21日(金)	28日(金)



イベント情報 来年は子年！新年に向けてかわいい小物をつくってみませんか？

【時間】各日 13:00~16:00の間

【場所】ボランティアコーナー(市文化福祉会館2階16号)

【参加費】無料 【対象】小学生以上 【定員】各日5名 ※先着順 ※要申込み



多様性について考える交流セミナーを開催しています

9月23日(月・祝)、小学生を対象に『電子ブロックで遊ぼう「あったらいいな」を工作で作ってみよう』と題し、セミナーを開催しました。

徳山高等専門学校の学生のみなさんが講師となり、IOTブロックという、カメラやスピーカー、温度や明るさが測れるセンサーなどの機能を持つ電子ブロックとプログラミングを合わせた工作に挑戦しました。



障がいを持つ人が、日常生活の中で抱える困り事を思い描きながらプログラミングを考え、「あったらいいな」を形にしていきました。

完成したのは、エレベーターの前に人がくると「ここからエレベーターです」と音声で教えてくれるプログラミングや、揺れを感知すると「危ない」と教えてくれるプログラミングなど、実用しても役立つと思えるものばかりでした。

12月は障がい者雇用に関する
セミナーを開催するのニャ

ハード、ソフト、そしてハート

障がいの有無に関わらず 個性と能力を発揮する 組織づくり



社員の約70%を障がいのある社員が占めるソニーの特例子会社『ソニー・太陽株式会社』。高品質なものづくりと障がい者の自律を目指し、積極的な雇用を進める取組についてお聞きし、多様性のある組織づくりについて考えます。

講師 ソニー・太陽株式会社 瀬口 晋二郎 氏

コーディネーター 徳山高等専門学校 准教授 三浦 靖一郎 氏

日時：12月13日(金) 19:00~21:00

場所：市地域協働支援センター 多目的ホール(ルルサス防府2階)

対象者：当事者、当事者の家族、企業経営者、企業人事担当者、学校教職員、福祉関係者、医療関係者など、障がい者就労に関心がある方を含む 学生、一般の方

参加費：500円 定員：30名

申込み：市民活動支援センターへ

主催：市民活動支援センター、徳山高等専門学校、徳山大学

後援：山口県教育委員会

information

時 時間 場 場所 内 内容 対 対象 人 定員 ¥ 参加費 持 持参物 申 申込み 問 問合せ

12/7 (土) 未来につながる話をしよう ～モヤモヤの棚卸ワークショップ～

時 14:00～17:00
場 市地域協働支援センターフードスタジオ
内 アイスブレイク&クッキング
モヤモヤの棚卸ワークショップ
背景と原因から解決策を考える
対 20～30代で、同世代の仲間と交流したい方
人 12名 ¥ 1,000円
申 右のQRコードから
問 市民活動支援センター



12/9 (月) 令和元年度 障害者福祉啓発セミナー

時 13:00～15:30
場 市文化福祉会館大会議室 (3階4号)
内 「共生社会の実現を目指して一支援られて支える」
講師: 溝田 成哲 さん
(宇部市身体障害者団体連合会会長)
対 どなたでも
人 110名 ¥ 無料 **申** 要
問 市社会福祉協議会

12/14 (土) 令和元年度 2/1 (土) 生涯学習ボランティア養成講座

時 10:00～12:00
場 市文化福祉会館大会議室 (3階4号)
内 手作り工作
講師: 宮本 勝彦 (市青少年科学館ソラール専門員)
対 子どもを対象としたボランティア活動に関心のある方
人 各日30名 ¥ 無料
申 12月6日(金)・1月24日(金)までに下記へ
問 生涯学習課

12/22 (日) 視覚・聴覚障害者研修会

時 【視覚障害者の部】9:00～10:30
【聴覚障害者の部】10:30～12:00
場 市文化福祉会館第2研修室 (2階18号)
内 生け花教室 (お正月のお花づくり)
対 市内在住の視覚・聴覚障害者
人 各20名 (先着順)
¥ 無料
申 12月16日(月)までに下記へ
問 市社会福祉協議会

1/7 (火) マツダ財団 青少年育成のための活動を支援します!

対象となる活動 青少年健全育成のための、民間の非営利活動
募集要項 募集地域: 広島県・山口県/支援期間: 令和2年4月1日から1年間/支援金額: 1件あたり10～50万円、支援総額800万円/募集期間: 令和元年10月8日(火)～令和2年1月7日(火)/決定と通知: 令和2年3月下旬/応募方法・問合せ先: マツダ財団HP (下記) 参照
HP: <https://mzaidan.mazda.co.jp/>

2/5 (水) 情報の伝え方セミナー ～プレゼンテーションのあり方～

時 19:00～20:30
場 市地域協働支援センター研修室1
内 知っているようで知らないスライドを使用したプレゼンのルール。やってはいけないプレゼンとその理由を明確にし、改善方法を示しながら進めていきます。
講師: 黒川 康生
人 20名 ¥ 500円
申 要
問 市民活動支援センター

編 集 後 記

一気に冷え込み始めましたね。ここ数年は「秋、どこ・・・？」なんて思いながら冬を迎えています。急に寒くなりましたので、みなさんも、体調管理には気を付けてくださいね。(Y)

『まなぼら』は、3機関が協働で編集している情報紙です。
発行月は6月・9月・12月・3月です。

今号で『まなぼら』も80号!!表紙の写真は、手話で“8”を表していたと気付きましたか?今号をきっかけに多くの方が手話に興味を持ってもらえたら幸いです。(A)

早いもので今年も残り1ヶ月。年末は、今年を振り返りながら、松葉ガニを食べ、美味しいお酒を飲んで温泉に浸かって・・・しっかりリフレッシュして新年を迎えたいと思います。(H)

防府市教育委員会教育部生涯学習課 生涯学習相談コーナー

〒747-0026
防府市緑町1丁目9-2
防府市文化福祉会館内1階10号
(0835)23-3015
(0835)38-8131
shougai@city.hofu.yamaguchi.jp



防府市社会福祉協議会 (ボランティアセンター)

〒747-0026
防府市緑町1丁目9-2
防府市文化福祉会館内1階14号
(0835)22-3907
(0835)25-1388
fureai-net@hofushishakyo.jp



防府市市民活動支援センター

〒747-0035
防府市栄町1丁目5-1
ルルス防府2階
(0835)38-4422
(0835)24-7733
ehofu@trust.ocn.ne.jp

